

インフルエンザが注意報レベルを超えました

2024年第50週(12月9日~12月15日)の発生動向調査において、熊本市内の定点医療機関からのインフルエンザ報告数は492件(1定点医療機関当たり19.68)で、国が定める注意報レベルの基準値「10」を超えました。

手洗い・うがい等の基本的な感染対策により、感染を予防しましょう

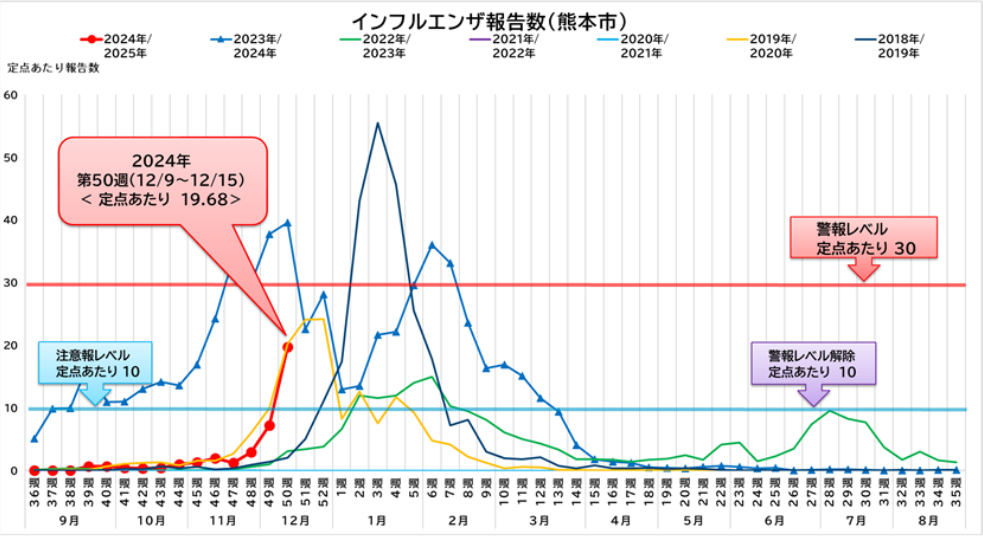


主な症状

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

予防対策

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 外出後の手洗い等
- ③ 適度な湿度(50~60%)の保持
- ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑤ 人混み等の混雑した場所への外出を控える
- ⑥ 室内ではこまめに換気をする



定点種別	疾患名	状況	49週(12/2~12/8)		50週(12/9~12/15)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	△	180	7.20	492	19.68
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		36	1.44	59	2.36
小 児 科	RSウイルス感染症		2	0.13	3	0.19
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	3	0.19	4	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	77	4.81	73	4.56
	感染性胃腸炎	—	85	5.31	97	6.06
	水痘(みずぼうそう)	—	2	0.13	5	0.31
	手足口病	○	69	4.31	62	3.88
	伝染性紅斑(りんご病)	—	14	0.88	3	0.19
	突発性発しん		4	0.25	12	0.75
	ヘルパンギーナ	—	2	0.13	1	0.06
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	0	0.00
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	14	2.80	6	1.20
基 幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		16	3.20	17	3.40
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし